

学校評価（自己評価）

4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

領域	努力目標	努力事項	具体的実践事項	関連(外部アンケート) (4+3)の割合	自己評価	関連する外部アンケート、自己評価 についての気づきや意見 及び 来年度への提言
1 学 校 運 営 全 般	地域に開かれ信頼される学校づくり	1 教育方針や指導方針の明確化	① 学校や学年、学級の教育方針や指導方針等を保護者に伝えたか。	保1-① 77.1% 生	2.8	<p>○学校運営協議会の動きについては、保護者の方には見えにくいところがあるのではないか。年度当初のPTA等で、もっと説明していく必要がある。</p> <p>○教科等支援コミュニティはとても前進した。しかし、活動の内容について学校通信等で取り上げるのはプライバシーに関わる場所もあり、難しい。</p> <p>○教科等支援員の方々を職員や生徒に紹介する機会をつくった方がよい。</p> <p>○支援員の方々に対する我々職員の感謝の念が薄いのではないかな。</p> <p>○支援員の方々の声を拾うコーディネーター的存在が必要。</p> <p>○該当生徒についての情報の共有を図る方法を工夫すべき。</p> <p>○まず、職員が積極的に支援教室にも足を運ぶべき。</p> <p>○アンケートを実施する等、支援員の方々の声を次年度へ生かすべき。</p> <p>○学校運営協議会に携わっている職員の負担は大きい。担当者とそれ以外の職員とのとらえ方に温度差が出ている。組織の見直しが必要である。</p> <p>○職員への啓発が必要。活動の状況をもっと伝えていくべき。</p> <p>○全校生徒への啓発も必要。</p> <p>○特別支援教育、特に通級指導教室についての職員の認識を新たにすることがある。</p>
		2 学校運営協議会への参画	② 学校運営協議会設置校であることを意識し、各コミュニティの活動に主体的に参画したか。	保1-② 83.7% 生② 77.4% ③ 81.8%	2.5	
		3 保護者や地域との連携	③ 保護者や地域と連携した教育活動に努めたか。	保1-③ 80.6% 生	2.8	
		4 保護者や地域への情報提供	④ 各種通信等を通して保護者や地域へ教育活動全般の情報を提供したか。	保1-④ 88.5% 生	2.9	
		5 施設・設備の適切な管理と活用	⑤ 施設・設備の整備や管理に努め、適切に活用したか。	保1-⑤ 76.7% 生	3.0	

学校評価（自己評価）

4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

領域	努力目標	努力事項	具体的実践事項	関連(外部アンケート) (4+3)の割合	自己評価	関連する外部アンケート、自己評価 についての気づきや意見 及び 来年度への提言
確 か る な 楽 し い 授 業 の 創 造 の 育 成	わかる 楽しい 授業の 創造	1 熊本型授業の推進	⑥ 徹底的な教え込みと生徒の主体的な学習とのメリハリのある学習指導を推進したか。	保2-① 64.3% 生⑦ 79.8% ⑧ 84.2%	2.8	○「3 個に応じた指導の充実」に関するアンケートの割合が低い。特別支援教育の視点をもって、丁寧に指導に努める必要がある。 ○朝の読書については、学年等で検討がある。
		2 基礎・基本的事項の確実な定着	⑦ 基礎・基本的事項を明確にし、その定着に向けた指導に努めたか。	保2-② 68.3% 生⑨ 66.1%	3.0	○家庭学習の習慣化に向け、工夫が必要。 ○自学ノートは本当に生かされているのか？
		3 個に応じた指導の充実	⑧ 諸検査等の結果を分析し、そのことに基づいた指導に努めたか。	保2-③ 49.3% 生⑩ 50.7%	2.7	○個々に学力に応じたプリントを配付すること等も一方法か。
		4 読書活動の推進	⑨ 朝の読書活動の充実に向けた指導を工夫したか。	保2-④ 44.1% 生⑪ 63.6%	2.4	○個別指導のための昼休みや放課後の時間の確保が難しい。 ○学級の日を活用して、学習の時間に利用することも考えたい。
		5 自立的な学習態度の育成	⑩ 家庭学習の習慣化に向けた指導に努めたか。	保2-⑤ 57.3% 生⑫ 55.2%	2.7	○学習棚の活用を図りたい。習熟度別のプリントを用意し、個に応じた指導に活用したい。 ○家庭学習ノートについての共通理解を図るべき。 ○基礎学力クラスマッチを学校全体でも実施してはどうか。 ○学習の仕方を教えることが大事である。学習の手引きの作成についても検討してみたい。

学校評価（自己評価）

4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

領域	努力目標	努力事項	具体的実践事項	関連(外部アンケート) (4+3)の割合	自己評価	関連する外部アンケート、自己評価 についての気づきや意見 及び 来年度への提言
3 豊 か な 心 の 育 成	自 他 を 尊 重 す る 態 度 の 育 成	1 基本的生 活習慣の育 成	⑪ 挨拶など、凡事徹 底の指導に努めた か。	保3-① 81.1% 生⑮ 89.1%	3.2	○「1 基本的生活習慣の育成」につ いて、生徒の評価は高いが、果たして 本当に徹底されているだろうか。 ○「2 道徳の授業の実践」に関して、 生徒・職員の評価がともに低い。 ○実情として時間がたっぷりと取れて いない。 ○当初の計画どおりに実施できず、ず れが生じている。 ○行事と見比べながら、道徳の年間計 画を検討することも必要。 ○現在、一斉に道徳の時間をとってい るが、見直してもいいのではないか。 ○今年度実施した公開授業等、さらに 校内研修を充実していく必要がある。
		2 道徳の授 業の実践	⑫ 感性を育み心に 響くような道徳授業 の実践に努めたか。	保3-② 70.5% 生⑬ 48.3%	2.6	
		3 積極的生 徒指導の推 進	⑬ 生徒理解に努 め、生徒の良さを認 め伸ばす指導が実 践できたか。	保3-③ 65.6% 生④ 59.2% ⑤ 72.5%	3.0	
		4 人権教育 の充実	⑭ あらゆる教育活 動の中で、人権尊 重の精神に立った 教育指導に努めた か。	保3-④ 73.6% 生⑯ 78.0%	3.0	
		5 進路指導 の充実	⑮ 将来への夢や職 業を描き、学ぶこと の意欲を高める指 導に努めたか。	保3-⑤ 65.2% 生⑭ 73.5%	2.7	

学校評価（自己評価）

4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

領域	努力目標	努力事項	具体的実践事項	関連(外部アンケート) (4+3)の割合	自己評価	関連する外部アンケート、自己評価 についての気づきや意見 及び 来年度への提言
健康 教育 の 推 進	たくましい 心身の 育成	1 体力の向上	⑯ 体力を高めるための指導の工夫に努めたか。	保4-① 83.7% 生⑰ 64.4%	2.9	○早寝早起き朝ごはんの啓発をさらにする必要がある。 ○交通安全指導については地域の協力が必要ではないか。生徒の自己評価は高いが、保護者（地域）の結果を考えると、生徒の規範意識を高める必要がある。 ○学年始めに徹底指導・重点指導を行うことが大事。 ○う歯の治療率が悪い。家庭との温度差がある。さらに指導に努めなければならない。
		2 安全指導の徹底	⑰ 交通事故防止に向けた指導に努めたか。	保4-② 52.0% 生⑱ 85.7%	2.9	
		3 保健指導の充実	⑱ 健康調査や体力調査の結果に基づき、健康管理の指導に努めたか。	保4-③ 70.9% 生⑲ 78.6%	2.9	
		4 食に関する指導の充実	⑲ 望ましい生活リズム（早寝、早起き、朝ごはん）の指導に努めたか。	保4-④ 72.2% 生⑳ 67.9%	2.9	
		5 適正な運動部活動の推進	㉑ 部活動の積極的な取組と適切な指導に努めたか。	保4-⑤ 81.9% 生㉒ 75.6%	3.2	

平成22年度人吉市立第一中学校 学校関係者評価について

領域	努力目標	自己評価をもとにした委員の分析	課題等の解決に向けて（提言）
1 学 校 運 営 全 般	地 域 に 開 か れ 信 頼 さ れ る 学 校 づ く り	<p>○学校運営協議会への参画についての自己評価が2.5と低かった。職員・保護者に学校運営協議会がどの程度理解されているのか疑問である。</p> <p>○保護者や地域への情報提供については、保護者の評価は高い。しかし、アンケート回収率49.7%から考えると本当に保護者に理解されていると言えるのだろうか。</p> <p>○担当職員の負担感や職員内での温度差という意見が気になった。先生方は自分たちがしなければという思いが強いために、仕事を請け負ってしまわれているのではないか。</p> <p>○コミュニティスクールのねらいの一つには、先生方の負担感を軽減するために地域の力を得るといふこともあると思う。さらにニーズに応える支援内容を検討していく必要があると考える。</p> <p>○生徒アンケートの結果で、②「第一中学校を誇りに思っている」と③「地域を誇りに思っている」の数値が高い。大変すばらしく、うらやましい。</p>	<p>○学校運営協議会について、生徒・職員・保護者それぞれに対して、きちんと説明する機会を設け、理解してもらうよう努めていくべき。</p> <p>○学校からの情報発信については今後も努めてほしい。(学校通信、ホームページ等)</p> <p>○学校運営協議会の広報については、新聞社の協力を得ながら今後も継続していくとよい。</p> <p>○担当者の選出については、学校側で十分検討され、よりよい体制をつくってほしい。</p> <p>○具体的なニーズを伝えてもらい、支援が充実するように協力したい。</p> <p>○地域文化を知る機会を先生方にも持っていただいてはどうだろうか。職員研修等の一つに取り上げていただければ幸いである。</p>

領域	努力目標	自己評価をもとにした委員の分析	課題等の解決に向けて（提言）
2 確かな学力の育成	わかる楽しい授業の創造	<p>○読書活動の評価が低いようである。中学生の実態として、雑誌やマンガの方に目が向いているのではないか。</p> <p>○朝の読書だけでは十分とは言えないのではないか。</p> <p>○生徒アンケートの結果で、⑦「授業はわかりやすい」と⑧「授業は、先生からの一方的な話だけでなく生徒が活動する場面もある」の数値が高い。中学生がこれだけ答えているということからも、教育活動の充実ぶりがわかる。</p>	<p>○人間形成にとって重要な中学生の時期にふさわしい本を読むように指導を工夫してほしい。</p> <p>○中学生にも読み聞かせのような方法をとってみてもよいのではないか。</p> <p>○担任の先生の働きかけというのも大事だと思う。</p>
3 豊かな心の育成	自他を尊重する態度の育成	<p>○道徳の授業実践についての評価が低かったのが残念だった。</p> <p>○道徳の授業が理屈っぽくなっているのではないだろうか。</p> <p>○あいさつについては、非常によくなってきたと思う。地域において、出会う生徒の約3分の2は自分からあいさつができていて感じている。また、他県の方からの評価も高いと聞いている。これは、道徳教育の一つの表れととらえてよいのではないか。</p>	<p>○教材や指導方法等、理屈っぽくならないように工夫してほしい。</p> <p>○単刀直入、単純明快に道徳的価値を伝えていくことも大事なのではないだろうか。</p> <p>○生徒同士が意見交換を行う時間を十分取る等、工夫をお願いしたい。</p>
4 健康教育の推進	たくましい心身の育成	<p>○交通事故防止に関するアンケート結果について、保護者と生徒では差が大きい。生徒自身は気をつけて自転車に乗っているつもりでも、車を運転している保護者側としては、気になると言うことだろうか。</p> <p>○部活動の満足度が高い。とてもいいことだと思う。</p> <p>○⑱「健康管理」⑳「早寝早起き朝ごはん」の実践についても、生徒の評価がこれだけあればよい方だと思う。これも県の推進活動の成果だと思う。</p>	<p>○交通安全指導について、具体的にどんな地域の協力ができるだろうか。</p> <p>○総合病院の工事も始まったので、特に登下校時には注意がいる。</p> <p>○生活の基本的なことについては、今後もどんどんアピールし続けてほしい。</p>